

関係者各位

当社の現状に関するご報告

関係者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本日、当社は「平成26年12月期第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」を発表いたしました。平成26年12月期第2四半期の連結業績において、当社グループは売上高1,053百万円、営業利益88百万円、経常利益72百万円、四半期純利益46百万円を計上し、前年同四半期と比較して増収増益の結果となりました。不動産仲介部門の子会社化にかかるコストや海外連結子会社の株式譲渡などによる一時的な損失を吸収し着実に収益を上げることができましたのも、関係各社様からの積極的なご支援・ご協力の賜物であると感謝申し上げます。

また、同時に役職員一同、目標の達成に向かって努力した結果であると自負しております。

不動産販売事業においては、本年2月に完成した販売物件の引渡しがこの第2四半期までにすべて完了し、売上・利益を牽引する結果となりました。また、従来より取り組みを進めております戸別での買取再販活動においては、不動産市場における販売商品の品薄が続く状況下での仕入競争の激化により、優良物件の確保が困難な環境ではあるものの、投資用マンション及びファミリータイプのマンション数戸の手当てが完了しており、第3四半期から第4四半期にかけて販売が完了する見込みとなっております。さらには、新たな取り組みとして戸建販売の事業化を目指し、経験者の採用による人員強化・事業体制の整備を図るなど、来期以降の収益の柱となるよう準備を進めております。

不動産仲介事業においては、賃貸仲介の手数料収入が伸び悩む中、季節変動の影響がなく安定的な取引が可能である投資用マンションの売買仲介業務において昨年以上の成果を残しております。ファミリータイプの居住用物件の売買仲介業務も少しずつではありますが成果が出始め、人員も強化して安定収益事業へと成長させるべく尽力しております。

中国・海外諸国へのビジネス展開については、サービスアパートメントを運営・管理しているベルグラビアグループの買収を皮切りに、当該会社を海外事業展開のプラットフォームとした様々な新規事業への取り組みを進めております。6月末には中国・上海エリアにおけるワンルームマンション賃貸事業への新規展開を表明し、先月末には当該事業を遂行するための資金を管理する資産管理会社の設立決定を発表いたしました。

今後は、事業展開の拠点となる上海エリアに実務的な活動や運営・管理を担う不動産管理会社の新設を予定しております。また、当社資本提携先である徳威グループの協力のもと、物件の選定、ワンルームタイプへのリノベーションプラン策定など商品化に向けた具体的な作業も進めており、今期中には中国ワンルームマンション賃貸事業に着手できるよう鋭意準備を進めております。日本国内のビジネス領域の拡充と併せ、新たな収益の柱の一つとなるよう、実現に注力してまいります。

平成26年度上半期を終え、着実に利益を積み上げた成果となっておりますが、課題や改善しなければならない点も多く、盤石な経営体制にはまだまだ不十分であると考えております。

皆様のご期待に添えますよう、高い目標と高い意識をもって役職員一丸となって取り組んでまいりますので、株主様、お客様、お取引業者様などの関係者の皆様には、引き続き変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

平成26年 8月
株式会社陽光都市開発
代表取締役 田中 忍